

9条こそ平和への道

第27回

平和のための戦争展 in 北九州

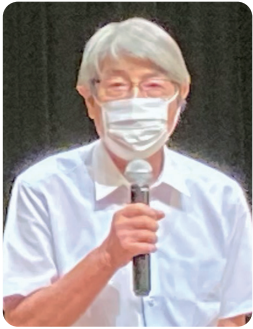
2022.9.15

第27回平和のための戦争展に、約4000人の来場と、会場カンパ12万円が寄せられました。来年も計画致します。ご協力ありがとうございました。

実行委員 連絡先
香川 090-7150-3090
原田 090-6892-7715



ロシアによるウクライナ侵略が続く中、第27回「2022平和のための戦争展in北九州」が8月27-28日、八幡西区の黒崎コムシティで開催されました。新型コロナウイルス感染が急増する中での開催となりましたが2日間で約400人が来場。平和のうたごえは「ウクライナに平和を」など数曲を披露、記念講演は井下顕弁護士が「ロシアのウクライナ侵略問題と憲法9条改正問題」について、対談企画は8月25日に閉館した北九州平和資料館の小野逸郎さんなどが登壇しました。「青年の主張」は教育現場での平和学習の現状が報告されました。



三輪実行委員長

三輪俊和実行委員長は開会冒頭、「岸田政権はウクライナ情勢に乗じて、憲



井下弁護士

六本松総合法律事務所の井下顕弁護士が今年2月から続けている「ロシアのウクライナ侵略問題」と「憲法9条改正問題」について記念講演。福岡県平和委員会代表理事でもある井下弁護士は冒頭、「ロシアはドネツク・ルガンスク両人民共和国からの要請による集団的自衛権の行使というのが、ウクライナ侵略は明確な国際法違反、これは明確にしておか

平和憲法を未来に繋ぐ

法9条を改悪していつか来た道、戦争への道を突き進んでいる」「憲法9条こそ、アジアと世界の平和な未来を輝かせている。私たちは憲法を守り活かす、この平和の道を堂々と歩む、平和憲法を未来に繋いでいこう」と挨拶しました。

ウクライナ侵略に便乗し9条改憲を狙う岸田自公政権。改憲をどう阻止するのか。「日本が攻められたらどうするのか」という国民の不安感、恐怖感に真摯に向き合う姿勢が大事であり、井下弁護士は「自公政権は国政選挙がない黄金期間の3年間に必ず憲法改正を仕掛けてくる。大事なのはそれまでに何をすべきか。草の根からの運動が求められている」と呼びかけました。

参加者の感想

- 憲法9条は宝。9条の会を広げていかなければならないと思います。
- 「戦争そのものが違法」とうたっている憲法9条は、日本だけでなく世界の平和を守ることを改めて学習しました。
- もっと詳しくお話しを聞きたかった。「私たちは何をどう語るべきか」語る場がもっとたくさんあるといいですね。特に若い人や子供たちに向けて。
- 専門的な話で少々難しかったが、しっかりと話しを聞きました。
- とてもわかりやすいお話でした。世界に誇る憲法9条を守り抜くためにも、まだまだしっかり勉強して戦争のない、起こさない平和な世界をめざしていかなければと思った。
- 憲法9条、とても大切ですね。自分にできることから大切さを伝えていきたいと思います。
- 講演は、もっと若い方も聞いてもらいたいですね。私も何ができるか考えていきたいと思えます。ありがとうございました。
- 戦争を違法化するということがよく分かりました。
- 日本の軍事費が実際は、すでに2倍使っている話はいいいですね。

対談
企画

「市民の力」で平和資料館開設

進。

翌年には「平和資料館準備

対談企画では、8月25日に閉館した「北九州平和資料館」(若松区)の小野逸郎さん、大石正信市議会議員、司会で同館管理人の小松芳子さんが登壇。

後の市民運動への思いも語りました。

室」が設置されました。登壇した3人は当時、準備室開設に立ち会っていました。

2013年の同館開館までの経過や、北九州市内における平和運動を振り返りました。

北九州平和資料館開設のきっかけは、1995年10月に解体された、小倉陸軍造兵廠の給水塔(小倉北区)解体をめぐる保存運動の高まりでした。解体阻止のため17日間で延べ800人の市民が座り込みなどを

小野さんは「準備室には毎年、三郎丸小学校の6年生が見学に来ていた。小学校で行われた戦争展に招かれたこともあった」と当時を振り返りました。

た。小野さんは「これから大事なのは子どもたちにも伝えていくのか。新たな展示施設もできるので、頑張ってもらいたい」と、今

敢行。結果的に解体されましたが同年8月の第1回平和のための戦争展で取り上げられるなど市民運動が前

大石議員は「市民の力で(行政の)平和資料館が出来たことは画期的なこと。加害の歴史を伝えることは難しい。(民間の)平和資料館が来年再開されることは必要なこと」と今後も平和活動の拠点として期待感を表しました。

小松さんは「市民の力で(行政の)平和資料館が出来たことは画期的なこと。加害の歴史を伝えることは難しい。(民間の)平和資料館が来年再開されることは必要なこと」と今後も平和活動の拠点として期待感を表しました。

小松さんは「市民の力で(行政の)平和資料館が出来たことは画期的なこと。加害の歴史を伝えることは難しい。(民間の)平和資料館が来年再開されることは必要なこと」と今後も平和活動の拠点として期待感を表しました。

小松さんは「市民の力で(行政の)平和資料館が出来たことは画期的なこと。加害の歴史を伝えることは難しい。(民間の)平和資料館が来年再開されることは必要なこと」と今後も平和活動の拠点として期待感を表しました。



上から小野さん、大石さん、小松さん

小松さんは「市民の力で(行政の)平和資料館が出来たことは画期的なこと。加害の歴史を伝えることは難しい。(民間の)平和資料館が来年再開されることは必要なこと」と今後も平和活動の拠点として期待感を表しました。



青年の主張

平和学習への思い

今年の「青年の主張」は教育現場での平和学習の取り組みについて報告がありました。

報告者は「教員として大事にしていることは、人と子どもを育てること」と話し、平和学習を通して戦争

や平和を考えることで、思いやりのある心身につけることが出来ること、自分たちの未来に対する意見を持つことが出来ることをあげました。今後も平和学習を出来る限り続けていくとの決意に会場から大きな拍手が起きました。

や平和を考えることで、思いやりのある心身につけることが出来ること、自分たちの未来に対する意見を持つことが出来ることをあげました。今後も平和学習を出来る限り続けていくとの決意に会場から大きな拍手が起きました。

は「いつもどうやってたら戦争がなくなるんだろうとか考えてきて、お二人の話を聞いてやっぱり市民の力だな。受け継げるところが受け継いで、新しい資料館をやっていききたい」と決意を語りました。

参加者の感想

●給水塔保存の集会・座り込みに参加しました。若松に転居して、北九州平和資料館の行事を楽しみました。市の平和のまちミュージアム開館につながり、すばらしいです。

●これからのように保存していくか。しっかり残していかなければ。苦労話も残していきたいですね。

●平和資料館ができるまでの歴史を聞くことができ市民運動の力を感じることができました。

参加者の感想

●実践に基づいた話であり、とても素晴らしいです。若い人たちが素晴らしい人生を送れますように。

●平和教育が以前のように行われてないと聞き残念なと思っていました(夏休みの出校日も無い)。先生

来場者の感想

展示パネル

●戦争の悲惨さが生々しくパネルで見ることができ辛くなりました。おぞましい写真でした。実際に鉄砲と焼夷弾を持つことができませんでした。本



●村瀬氏の写真は、中国での戦争を捉えていて貴重だと思えます。北九州の「捕虜収容所」の存在を初めて知りました。

●時間が足りず全部見ることができませんでした。新しい資料館に伺ってみました。体験者の証言が胸を打ちました。

平和のうたごえ

●久しぶりに新日鉄つたう会の歌声を聞きました。だいが年を取られていましたが、うたごえの力強さは変わっていませんでした。素晴らしい！

●合唱団の方々の日頃の練習あってのうたごえでした。ありがとうございます。最初の歌の紹介も聞き良かったです。

●男性合唱団の力強いコーラス良かったです。できれば歌詞の一部(ノーパサランとか)を今日の資料に織り込んでほしいです。良かった。平和への思いが伝わってきた。